

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第2回西脇市男女共同参画審議会
開催日時	2025（令和7）年2月13日（木） 午後2時～4時
開催場所	西脇市茜が丘複合施設Miraie 会議室1
出席委員の名称又は人数	10名
欠席委員の名称又は人数	2名
出席職員の職・名称又は人数	6名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議題又は協議事項	(1) 令和7（2025）年度西脇市男女共同参画センター事業（予定）について【資料1】

会議の記録（概要）	
発言者	
会長	<p>○ 開会</p> <p>会議成立の報告 委員10名の出席により会議成立の報告</p> <p>傍聴者について 傍聴者0名の報告</p>
事務局	<p>令和7（2025）年度西脇市男女共同参画センター事業（予定）について、資料1に基づき事務局（男女共同参画センター）から説明</p>
会長	<p>事務局から説明いただいたが、意見はないか。</p>
委員	<p>西脇市では防災における男女共同参画について、どのような取組を行っているのか？</p>
事務局	<p>市民が参加するセミナー等で地域に関するアンケートを配布し、地域防災の認知度や、どのように感じているか等を聞いている。地元の公民館のトイレが男女別になっているか、（公民館が）避難所になった場合、仕切るものがあるか等の設問となっている。西脇市は大きな災害が起こっていないことから、自分事として捉えられていないように感じる。</p> <p>各町に地域防災組織があるが、メンバーを見ると、地域の役員がそのまま地域防災の役員になっており、（地域の役員に女性が少ないため）女性が少ない。（地域防災組織には）民生委員が入ることになっている。女性の民生委員がいても、男性委員が入り、結果、男性ばかりというところも多い。</p> <p>防災安全課と一緒に防災における男女共同参画を進めていきたい。</p> <p>つい最近、市内の高校生で、防災士の資格を取り、ボランティアグループ（男性3名、女性3名）をつくったと連絡をもらった。救急救命の講習会等活動をしたいと聞いている。そのグループと連携し、一緒に地域に入っ</p>

	<p>ていけたら、行政からとは違った声かけができるのではないかと考えている。</p>
<p>会 長</p>	<p>高校生の活動が地域に新しい風を入れてくれるのではないか。</p> <p>高校生に助言をしている方の話で、大人から大人への声かけは入りにくい、高校生からの声かけは受け入れやすいと聞いた。</p>
<p>委 員</p>	<p>どのような手法でアンケートをとっているのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>男女共同参画センターのセミナー等の参加者に配っている。また、地域で活動されている女性グループの座談会参加者にアンケートに協力してもらった。</p>
<p>会 長</p>	<p>全地域にアンケートを取るという計画はあるのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>今のところはない。</p>
<p>会 長</p>	<p>公民館の状況等を全地域で聞けたら情報として価値があるのではないかと考える。</p>
<p>委 員</p>	<p>【資料1】基本目標Ⅱの基本方針3「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進」に、事業所向けセミナー等とある。</p> <p>企業向けにセミナーは実施していると聞いているが、働く人たちに向けても周知してほしい。就業規則等を知らずに、理不尽な働き方をしている人もいないのではないかと考える。経営者、従業員、どちらもいなければならない存在なので、双方に働きかけてほしい。</p> <p>SNSで、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（以下「育児・介護休業法」という。）」の改正について、子育て世代にメリットのある改正だ、というような動画があった。</p> <p>それに対して、「仕事に穴をあける人たちが法に守られるのはどうか」「まともに休みも取れないのに…」</p> <p>「独身も早く帰って、ごはんを作りたい」というコメントがあった。</p>

<p>会 長</p>	<p>一方で、「それは会社に言うことでは」「早く結婚して子どもを作ったらいい」等の反論コメントがあった。それが本音ではないかと考える。</p> <p>制度で守られているのはありがたいが、負担に感じている人もいるのではないかと、子育て世代への風当たりが厳しくなってしまうのではないかと考える。（フォローしている方への）感謝の言葉だけでは満足できない部分があると感じている。フォローしている方へのインセンティブがあればいいのではないかと考える。</p> <p>企業とともに考えてもらいたい。</p> <p>権利があっても（育児・介護休業を）取れないのが現状である。</p> <p>事業所向けセミナーにどうすれば従業員も参加できるのか考えてもらいたい。例えば、事業所向けでも担当者と担当者以外の方の参加もできるという案内ができればいいのではないかと。</p>
<p>委 員</p>	<p>【資料1】基本目標Ⅱの基本方針4「子育て支援の充実」の放課後児童クラブの充実などについて</p> <p>保護者と接する機会があるが、放課後児童クラブに抵抗を感じている保護者がいる。指導員の指導力不足や狭い部屋での集団生活というのが理由である。</p> <p>トイレの数が少ない上、屋外にトイレがある放課後児童クラブもある。</p> <p>近隣の市町では、指導員への研修がある。こどもへの関わり方等をアドバイスしている。</p> <p>西脇市の取組はどうか。</p>
<p>事 務 局 委 員</p>	<p>次回までに担当課に確認しておく。</p> <p>放課後児童クラブの中には、利用する児童が100名近い学校もある。</p> <p>少子化もあり、文部科学省は空き教室の利用を進めている。空き教室を利用する場合、時間帯によっては（校舎内で）教育活動と放課後児童クラブの活動が一緒に行われることが考えられる。それは難しいため、校舎とは別の場所で行っているところがある。</p>

<p>会 長</p>	<p>トイレについては、校舎のトイレを使用する場合、教育活動中の生徒との線引きが難しく、校舎外のトイレを使用するところもあるのではないかと感じる。</p> <p>人口減少の問題を考えたときに、地方の人口流出のひとつに教育環境がある。市全体として、今後若い世代にきてもらうためにも重要な問題であると考えている。</p>
<p>委 員</p>	<p>【資料1】基本目標Ⅰの基本方針2「男女共同参画の視点に立った学校教育の推進」について</p> <p>新聞に、企業向け研修会の記事があった。公正な採用活動の社内での周知徹底を目的とした経営者向け研修会で、性的少数者への理解についても触れたと記事にあった。人権教育の観点や採用側の意識に左右される点からもこのような記事が取り上げられるのは大切である。学校教育においても同じで、教職員の意識が重要である。</p> <p>小学校で性的少数者への理解を目的として、児童（小学4・5・6年生）と保護者を対象に、当事者の方からお話しいただいた。アンケートを見ると、児童には、内容が難しかったのではないかと感じた。保護者には反響がよく「学びが多かった」等の意見があった。児童と保護者へのアプローチが大事だと感じた。</p> <p>私が勤めている学校では、定時退勤日を金曜日に行っている。男女の比率では、女性が多い。子育て中の職員もいるので、ワーク・ライフ・バランスをとれるようにしている。</p> <p>女性職員に体育担当をお願いするのが難しい。性別にとらわれず、その人の資質をと思っているが、難しく感じるところもある。</p> <p>授業に関しては、水泳の時間も低学年から（男女に）分けて着替えている。</p> <p>担当教諭や養護教諭がプライベートゾーンの授業を実施している学校もある。</p>
<p>委 員</p>	<p>女性の体育の先生がおられる学校もある。</p>

会	長	L G B T等 ¹ について保護者が学ぶ機会が少ない。意識が変わるきっかけとなるのではないか。	
委	員	F T M ² の方の話を聞いたことがある。お子さんもおり幸せそうな家族であった。また聞きたい。	
会	長	アンケートで「（内容が）難しかった」という意見があったとしても、「そういうのが普通なのだ」と肌感覚で分かる時代なのではないか。	
委	員	<p>【資料1】基本目標Ⅳ「配偶者等からのあらゆる暴力の根絶」について</p> <p>ドメスティック・バイオレンス（DV）被害者の支援をしたことがある。若い方は遠方へ逃げることができるが、年配の方は、今までの生活があるため、それを切り捨てて遠くへ行くのを嫌がる。そのため、自宅に戻る方が多かった。</p> <p>そのときに、西脇市内で一時避難できる場所があったが、すぐに住める状態ではなかった。災害時の避難場所だったようだ。</p> <p>西脇市内に一時保護できる場所はあるのか？</p>	
事	務	局	<p>西脇市内にはない。女性センターやシェルターを紹介している。</p> <p>被害者の状況や緊急度にもよるが、長年のDVでタイミングを逃したような年配の方には、市営住宅を紹介している。DV証明があれば優先的に入居できる。そのような形で生活の支援をしている。</p>
会	長	今回の資料は、全体が見えるようになっている。（資料を見ると）女性活躍については、女性を後押ししている。企業へはワーク・ライフ・バランスを働きかけているが、従業員へのアプローチも必要。女性活躍の拡大に	

¹ L G B T… “L” =レズビアン（女性同性愛者）、“G” =ゲイ（男性同性愛者）、“B” =バイセクシュアル（両性愛者）、“T” =トランスジェンダー（生まれた時に割り当てられた性別にとらわれない性別のあり方を持つ人）など、性的少数者の総称です。

² F T M… 「女性から男性へ(Female to Male)」の略語で、女性の体で生まれてきたものの、男性として生きることを望む人を指しています。

事務局	<p>ついて、女性だけが頑張るのではない。企業の中で女性が活躍できる環境を作ってもらえるような働きかけが少ないように感じる。ミモザ企業³（ひょうご・こうべ女性活躍推進企業）認定等の働きかけをしているが、もう少しアプローチがあってもいいのではないかと感じる。</p> <p>議事(1)令和7（2025）年度西脇市男女共同参画センター事業（予定）について、承認してよろしいか。</p> <p>（全会一致で可決）</p> <p>3 その他</p>
会長	<p>何年か西脇市と関わっている。自治会については、数年前までは、どうかと思っていた。男女共同参画に取り組む市民活動グループ等の団体がいるという魅力がある一方、データとして、女性が住みやすい街かどうかと感ずるところがあった。</p> <p>今は西脇市が変わるかどうかの瀬戸際かと思う。</p>
委員長	<p>私の地域では、副会長が女性になった。</p> <p>家事などを女性一人が担っている状況のまま、女性が自治会の役員を受けた場合、親の介護等が始まると、（自治会の）対応が難しくなる。家事の負担が女性だけだと、役員になった場合、負担が増える。</p>
会長	<p>家族のサポートが必要である。高齢男性の意識変化が必要なのか。</p>
委員長	<p>女性自身も「自治会役員は男性」という意識があるのではないか。</p>
会長	<p>女性が家事等をしなければと思い込んでいるのでは。</p>
委員長	<p>家庭においてそう思っている方もいるのでは。うちもそうだったが、少しずつ変わってきた。</p>

³ミモザ企業…兵庫県内企業の女性活躍を促進するための制度として、兵庫県と神戸市が共同で令和4年11月に創設。女性活躍や多様な働き方等に積極的に取り組む企業等を「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）」として認定している。

<p>委員</p>	<p>女性の中でも、自分から自治会活動に参加する人と、役が当たったため活動する人に分けられると考える。女性に役が当たったときは、夫からの「役をするなら、家のこともちゃんとしろよ」というプレッシャーがかけられるのではないか。自ら出たときは、意思があるので夫の協力もあるのではないかと考える。</p> <p>自治会は閉鎖的な（男性）組織であるので、それを打破するのか、多様な意見を取り入れたいのか、女性が参加する意味がどこにあるのか考えなければならない。</p> <p>女性を入れたいが立候補がない。自治会としては、ぜひ入ってもらいたい。</p> <p>あと、自治会も高齢化している。役員のお多くは、定年後の時間的余裕のある方たちで構成され、若い方が少ないため、（若い方の）意見が聞けない。</p> <p>いろいろな事情で、会議や行事に出られない方もいるが（みんな）協力している。女性にもどんどん参画してもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>自治会の中で、若い人の意見が通らないのを感じる。私の地域では、祭りの中止を自治会が決定して、（決定事項として）連絡が入る。それに対して意見しても通らない。子ども会等の若い役員（女性）が意見しても、自治会の考えがあり、通らない。話し合いの場がない。もっと議論した方がいいのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>今までと同じように（イベントの）実施をしたいが、負担に感じるところもあるのではないか。私の町では、まちづくり推進協議会があり、自治会の役員が入っている。役員は2年交代であるがゆえに、発展的にやろうと思ったときに役が終わってしまう。継続的に発展的に取り組むため自治協議会があればいいのではないか。そこに女性に入ってもらい、意見をもらいながら、まちづくりができたらいいいのではないかと考える。</p>
<p>会長</p>	<p>自治会行事について、意思決定者、運営者、参加者の話し合いが必要ではないか。</p>

委 員	<p>そのときの役員と隣保長の話し合いはある。運営側として関わってきたが、話し合いに加わっていない。</p> <p>楽しいことがあるまち、子どもが住みやすい場所にしたいと考える。</p> <p>自治会が若い世代のことを想って動いてもらいたい。</p>
会 長	<p>自治会組織を見直すと住民の満足度につながるのではないか。自治会だけでなく、行政も関わって透明化することが必要だと考える。</p>
委 員	<p>町の会議のことをよく知らない。役員の仕事もよく分からない。</p> <p>ゴミステーションのことについて、「囲いを作ってはどうか」と提案したが、通らなかった。どこに相談したら検討してもらえるのかも分からない。地域の組織の透明化をしてもらいたい。</p> <p>今度子ども会の役員をする。子ども会の会議には女性しかいない。名簿は夫の名前だが、出席するのは女性の場合がある。</p>
会 長	<p>子ども会は全員入るのか。</p>
委 員	<p>私の地域では、小学4年生の保護者が役員を受けることになっているため、それを嫌がる方もあり、子ども会に参加しない（参加できない）子もある。</p>
委 員	<p>役員も受けるのが当たり前だと思うが。</p>
会 長	<p>会社でも一緒だと考える。地域や家庭事情で役員ができない、という方もいる。全員参加するのが圧力になるのではないか。協力してやればいいのかではないか。</p> <p>親が参加できなくても、子どもが参加できるようにすればいいのではないかと考える。</p>
委 員	<p>教育現場では、くじ引きを行うことがある。能力には差がある、環境にも差がある。くじ引きは、平等なようで不平等だと思っている。</p> <p>（地域によってはないところもあるが）私の学校には</p>

		<p>P T Aがある。P T Aの会長をくじ引きで決めていたが立候補制にした。それからは話し合いで決めている。</p>	
会	長	<p>どの分野でも共通する問題だと考える。</p> <p>他で、名簿には世帯主でなく、参加者の名前を書くようになる意識が変わったところがあった。</p> <p>行政から声かけがあればいいのではないかと思う。</p>	
委	員	<p>自治会については、役員名簿、班長名と表現してある（世帯主と決めてはいない）。世帯主の名前を書くかは各家庭による。</p>	
委	員	<p>祭りに参加する場合は、世帯主の名前でなければならないと言われた。</p>	
会	長	<p>神社の宮入りでは、女性は入れないところもある。</p>	
委	員	<p>今は乗り子に女子も増えている。女子を入れないと成り立たなくなっていく。</p>	
会	長	<p>祭りはまだ男女共同参画が難しいところだと感じる。他に意見はないか。</p>	
委	員	<p>【資料1】に審議会等への女性委員登用目標40～60%とある。</p> <p>私が所属する委員では男女比率は約50%、理事になると（男女比率が）20%（男性8名、女性2名）になる。そこから推薦で委員になる。理事からの推薦でないといけないのか。</p>	
事	務	局	<p>理事と指定している場合は理事だが、指定していない場合は委員でよいと考える。</p>
委	員	<p>役員等について、女性が入ってくれない、男性が入ってくれない、と考えがちである。</p> <p>先ほどの委員の話でも、女性の場合は2人にして仕事を分担する等の工夫をしたらいいのではないか。</p> <p>母のことだが、婦人会の会長を決める際、（それまで</p>	

	<p>指名制だったが) すぐに立候補した。立候補が慣習化してしまうかもしれないと周りから非難された。</p> <p>私が住んでいる地域では、女性は祭りに参加できなかった。しかし最近では、奉納相撲に女の子が参加している(男の子しか参加できなかった)。お宮の掃除も男性しか参加できなかったが、女性も参加している。少しずつ変わってきている。</p> <p>変えようと思ったら、変えられる。固定観念を捨てる必要があると考える。</p> <p>地域づくりの協議会に取材に行くと、意思決定の場に女性がいない地域は元気だと感じる。地域の意見を聞き、伝える役目に女性がいないのが大事だと考える。そして地域の中で「だから女性が必要」という意識を持ち、それから女性に入ってもらうにはどうしたらいいかを考えた方がいい。</p> <p>まずはサポートについてもらう等、仕組みを考えれば変わるのではないかと考える。</p>
委 員	<p>子ども会の役員を受けた。そのときは、男性半分、女性半分だった。女性の参画がある方が意見がよく出るように感じる。</p> <p>その時々で男性、女性等、適材適所がある。</p>
委 員	<p>P T A の会長について、昔は男性ばかりだった。最近では女性が多いように感じる。それは男女共同参画の意識でなったのか、それとも男性が引いたのか、どちらとして考えた方がいいのか。</p> <p>子ども会の会長も女性の参画が進んでいるが、女性がやろうと思ってやっているのか。その経緯が大切だと考える。そのことは、自治会に通ずるところもある。</p>
委 員	<p>保育園、こども園の会長、副会長は女性が多い。子どもの前で話すのが、女性が得意なのではないかと感じる。高校の P T A で女性はあまり見かけない。</p>
委 員	<p>高校の P T A 会長は男性が多い。</p> <p>私の勤める小学校では、規約に特に決めているわけではないが、4年間女性の会長である。</p>

会 長	<p>スポーツ少年団も女性の会長のときもある。高校になると男性の会長が多いように感じる。</p>
委 員	<p>全体の男女比率とトップの性別の相関はあるかもしれない。自治会の女性参画を進めてもらいたい。</p>
委 員	<p>男性の育児休業取得も増えてきている。男性が育児に参加してきているが、育児への知識が少ないのではないかと感じる。育児に参加することのおもしろさをパパサークルの活動に参加して伝えている。子どもに対する知識があると、子どもの成長を細かく見ることができる。</p> <p>パパサークルで、育児を頑張っているお父さんを盛り上げる活動をやっていきたい。育児の楽しさや成長の喜びをお父さんに気づいてもらいたい。</p> <p>私は講演会等を聞いて気づくことが多い。男性脳、女性脳の違いがあることや、育児へのストレス対処法等を知ることができる。お父さんのことを応援してもらえる場が増えたらいいと思う。</p>
会 長	<p>男性の育児休業も増えている。早い段階で育児に関わるのが重要。行政や企業の働きかけが必要だと考える。</p> <p>普段からパートナーに家事、育児に参加してもらうよう働きかけることが大切である。</p> <p>委員の皆様には貴重な意見をいただき感謝する。</p> <p>事務局には、本日の意見を今後の男女共同参画の事業に反映していただくよう、よろしく願います。</p>
事 務 局	<p>貴重な意見をいただき、お礼申し上げます。</p> <p>今後の男女共同参画推進事業に反映していく。</p> <p>議事録はホームページ等で公開予定である。</p> <p>閉会</p>
問合せ先	<p>西脇市都市経営部茜が丘複合施設 男女共同参画センター 電話 0795-25-2800 / ファックス 0795-25-2220</p>